

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
沼津情報・ビジネス専門学校	昭和58年3月22日	坂部 眞彦	〒 410-0804 (住所) 静岡県沼津市西条町17番地1 (電話) 055-961-2555				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人静岡理科大学	昭和27年3月31日	杉浦 哲	〒 420-8538 (住所) 静岡県静岡市葵区相生町12-18 (電話) 054-200-3333				
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	CGデザイン科	平成22年文部科学省認定	-			
学科の目的	映像、ゲーム、広告、Webなどのデジタルコンテンツは急激に進展し、多様な制作方法が普及したことにより、デザインの基礎を身に付けた上でCGツールを使いこなせるデザイナーがコンテンツ産業では求められている。このニーズに答えるとともに企画・提案ができるデザイナーの育成を目的とする。						
認定年月日	平成30年2月27日						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	3090	480時間	3090時間	300時間	0時間	0時間
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	92人	0人	2人	14人	16人		
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 評価の基準: 60点以上を合格とする 評価の方法: 学期末と学年末に試験を実施			
長期休み	■学年始: 4月1日～4月9日 ■夏季: 8月1日～8月31日 ■冬季: 12月10日～1月9日 ■学年末: 3月8日～3月31日		卒業・進級条件	卒業要件: ・必須科目及び選択必修科目において不可がない ・学年ごとの総欠課時限数が年間消化時限数の15%以内である ・学納金が未納でない 進級要件: ・必須科目及び選択必修科目において不可がない ・総欠課時限数が年間消化時限数の15%以内である ・学納金が未納でない			
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ・指導教員との面談 ・家庭連絡により保護者と連携して指導		課外活動	■課外活動の種類 (例) 学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 校外清掃活動 ■サークル活動: 有			
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(令和4年度卒業生) 株式会社マイルホールディングス、株式会社ソフトライブホールディングス、東洋印刷株式会社、株式会社ワイケーデザインリンク、株式会社宏和デザイン、株式会社ベビーカレンダー ■就職指導内容 スーツ講座、メイク講座、自己分析、業界・企業セミナー、筆記試験対策・就職模擬試験、履歴書指導、面接指導、模擬面接 ■卒業生数 24 人 ■就職希望者数 20 人 ■就職者数 20 人 ■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 83 % ■その他 ・自己就職: 4人 (令和4年度卒業生に関する令和5年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和4年度卒業生に関する令和5年5月1日時点の情報) 資格・検定名 種別 受験者数 合格者数 CGクリエイター検定 ③ 26人 17人 色彩検定 ③ 26人 20人 ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例) 認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等 第17回若年者ものづくり競技大会全国大会第2位			
中途退学の現状	■中途退学者 6名 令和4年4月1日時点において、在学者87名(令和4年4月1日入学者を含む) 令和5年3月31日時点において、在学者81名(令和5年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 学業不振、精神的な理由、自己都合による退学 ■中退防止・中退者支援のための取組 クラス担任制を導入し、担任が毎日の出席チェックをしている。また、授業の欠課数に応じ、保護者連絡や保護者を交えた三者面談を行っている。更に、月末には学生動向を報告し指導を実施している。学校カウンセラーもおり、悩み相談の窓口を複数設けている。		■中退率 6.9%				
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 特待生制度 特待生: 授業料全額免除 準特待生A: 授業料50%免除 準特待生B: 授業料25%免除 準特待生C: 授業料100,000円免除 (特待生入学選考の試験結果に基づき採用している) ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載						
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載						
当該学科のホームページURL	https://www.numasen.ac.jp/						

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

CGデザイン科が目標としているデザイナー育成に向けて、企画、制作、編集、プレゼン、運用管理の必要な一連の作業、実践的な事例をもとに実習を行う科目を開設・運営している。教育課程編成委員会を開催し、企業等の関係の意見を踏まえ、演習教材や演習方法、演習時間、評価方法などを検討し、カリキュラムおよびシラバスに反映していく。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

企業等のニーズを教育に反映させるため、学校組織内における教育課程編成委員会の位置付けを「沼津情報・ビジネス専門学校 教育課程編成委員会の位置付けに係わる規則」として、またその運営は「沼津情報・ビジネス専門学校 教育課程編成委員会規則」として規定しており、委員会の意見を教育課程の編成に反映できる体制となっている。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
影山 由夏	公益財団法人画像情報教育振興協会 職員	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	①
西島 昭男	株式会社シード 代表取締役会長	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	③
三上 慎太郎	沼津情報・ビジネス専門学校 教務課長	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	—
深澤 裕明	沼津情報・ビジネス専門学校 教員	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	—
長谷川 真紀	沼津情報・ビジネス専門学校 教員	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(8月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年8月30日 10:00～12:00

第2回 令和5年3月23日 10:00～12:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

①就職活動のためのポートフォリオについて、アウトプットの方法を検討する。また、作品の公開に関して全学年を対象にITリテラシーのアップデートを実施した方が良いとのご意見をいただいた。オンデマンドの教材などを利用してリテラシー教育を進めていく。②地域連携について。沼津市制100周年ということもあり、連携できる可能性はあると思われる。連携の方法については、今後検討していきたい。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

デザイン業界での就職ではポートフォリオが必要不可欠となる。コンテンツを制作するだけでなく、企業での仕事の流れやスケジュールの管理について理解を深め、就職活動に向けた作品指導に関して協力が得られる企業を想定している。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

ゲーム関連の企業で作品の制作、採用に携わっている講師が、ポートフォリオの重要性と最近の傾向、スケジュール管理等の手法について説明し、各自で企画から制作を行った。各自の課題について、企業の講師から直接、指示やアドバイスをいただくと共に、成績評価を行っていただいた。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
ポートフォリオ	就職活動のためのポートフォリオのまとめ方等について学び、制作スケジュールの管理、制作を行う。	株式会社リズ

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

「沼津情報・ビジネス専門学校 職員研修規程」を定め、教員の資質、人間性、専門分野における知識、技術の向上を図るため「教職員研修」を、企業等及び研修機関と連携し、育成対象の教員に対し組織的及び計画的に実施している。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	Maya x Unreal Engine ウェビナー はじめてのバーチャルプロダクション ~3DCG 背景を使用した新しい撮影方法を知る~	連携企業等: Autodesk株式会社
期間:	令和4年4月13日	対象: 教員1名
内容:	Maya(素材作成)とUnreal Engine(シーン構築)を連動させたバーチャル背景の作成方法	

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	就職指導研修	連携企業等: 株式会社ウェルネス研究所
期間:	令和5年1月5日	対象: 全教員
内容:	従来の就職指導とキャリア支援の違い、学生指導のポイントについて	

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	【UI/UX】さまざまな視点からデザインするはじめの一步 ~カスタマージャーニーマップとはなにか~	連携企業等: 株式会社 クリーク・アンド・リバー社
期間:	令和5年6月30日	対象: 教員1名
内容:	Webデザイナー、Webディレクター、Webマーケター、コーダーの方々向けに、カスタマージャーニーマップとはなにか、なぜ必要なのか、作成した後の活用方法などについて理解を深める。	

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	指導力向上研修会	連携企業等: 未定
期間:	令和6年1月5日	対象: 全教員
内容:	教員の教育力・指導力向上に必要なテーマを実施	

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校における学校関係者評価は、年度の教育活動をまとめた自己点検評価報告書について外部の学校関係者から意見をいただき、学校教育に反映させることにより、教育活動及び学校運営をより良いものに改善することを目的として運営している。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	基準(1) 教育理念・目標
(2) 学校運営	基準(7) 教職員組織、学校運営・管理、財務、法令等の遵守
(3) 教育活動	基準(2) 教育活動
(4) 学修成果	基準(3) 教育成果
(5) 学生支援	基準(4) 学生支援
(6) 教育環境	基準(5) 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	基準(6) 学生の募集と受け入れ
(8) 財務	基準(7) 教職員組織、学校運営・管理、財務、法令等の遵守
(9) 法令等の遵守	基準(7) 教職員組織、学校運営・管理、財務、法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	基準(8) 社会貢献・地域貢献、国際交流
(11) 国際交流	基準(8) 社会貢献・地域貢献、国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員より①キャリア教育の充実、②教員のさらなる資質向上、③卒業生の社会的な活躍のさらなる把握、④卒業生の離職状況を調査して欲しい、⑤地域に対する公開講座を検討・実施してほしいなどの意見が寄せられた。対応として①例年実施されていたOB/OGIによる講話を再開した、②内部研修・外部研修の活用、③④については専門学校部門としてアンケートワーキンググループの発足やアンケート検討の実施、⑤公開講座については新型コロナの影響(陽性者の頻発)により実施することができなかった。新型コロナの5類移行を受け、地域活動への参加は再開されつつある。公開講座についてはその需要も含め講座実施へと進めていく。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和5年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
高木 田鶴子	公益社団法人沼津法人会 女性部会 沼津支部長	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日(1年)	地方法人団体関係者
曾根 輝夫	ランアンドケントス株式会社 代表取締役	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日(1年)	企業等委員
塩田 美佐代	医療法人社団 真養会 看護・介護統括局長	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日(1年)	企業等委員
鶴谷 主一	学校法人松濤学園 原町幼稚園 理事長・園長	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日(1年)	企業等委員
廣住 和良	株式会社ディスタンス・インターナショナル 代表取締役	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日(1年)	企業等委員
大澤 幸男	株式会社KTSオペレーション 沼津リバーサイドホテル 総務人事マネージャ	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日(1年)	企業等委員
加藤 正樹	静岡県立富士宮北高等学校 教諭	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日(1年)	地域住民
土井 宣博	株式会社 雅心苑 代表取締役 社長	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日(1年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <https://www.numasen.ac.jp>

公表時期: 令和5年6月30日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校における学校関係者評価は、年度の教育活動をまとめた自己点検評価報告書について外部の学校関係者から意見をいただき、学校教育に反映させることにより、教育活動及び学校運営をより良いものに改善することを目的として運営している。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校概要、教育理念、教育目標
(2) 各学科等の教育	入学者数、学修時間数、取得可能資格、卒業者数、主な就職先
(3) 教職員	教職員数、組織、研修
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育、就職支援
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事、課外活動
(6) 学生の生活支援	カウンセリング、保護者との連携体制
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金、経済的支援措置
(8) 学校の財務	資金収支計算書、貸借対照表
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
(10) 国際連携の状況	留学生の受け入れ、派遣状況
(11) その他	その他の教育活動(附帯事業等)

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <https://www.numasen.ac.jp>

公表時期: 令和5年6月30日

授業科目等の概要

(工業専門課程CGデザイン科)																
No.	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			フレッシュマンセミナー	学校生活に関するオリエンテーション。コミュニケーションや挨拶等の基本作法の習慣づけをする。	1前	30	2	○			○		○		
2	○			ビジネスマナーⅠ	基本的なマナー・接遇について学習する。	1後	30	2	○			○			○	
3	○			ビジネスマナーⅡ	就職を意識したマナーについて学習する。就職活動で必要となる基礎的な能力を身につける。	2前	30	2	○			○			○	
4	○			ビジネスマナーⅢ	社会人として必要となるマナー・接遇。社会に出て必要となる基礎的な能力を身につける。	3後	30	2	○			○			○	
5	○			キャリアディベロップメントⅠ	コミュニケーションスキルの習得と社会人基礎力について理解する。	1後	30	1		○		○		○		
6	○			キャリアディベロップメントⅡ	業界でのキャリアを築くために、業界研究を行い、必要な知識、スキルについて理解する。	2後	30	1		○		○		○		
7	○			キャリアディベロップメントⅢ	社会や組織で必要とされるコミュニケーションスキルについて、より実践的に理解を深める。	3前	30	1		○		○		○		
8	○			就活ゼミⅠ	業界・企業研究を進め、一年次でのポートフォリオを完成させる。	1後	30	1		○		○			○	
9	○			就活ゼミⅡ	履歴書の書き方や面接指導など、就職活動に向けた準備・指導を行う。	2通	30	1	○	△		○		○		
10	○			教養ゼミⅠ	各種選択科目から興味のある科目を受講し、一般教養力の向上をはかる。	1前	30	1	○	○		○			○	
11	○			教養ゼミⅡ	目指す職業・業界に必要なとされる一般的知識を含めた教養を高めるための学習を行う。	1後	30	1	○			○			○	
12	○			教養ゼミⅢ	各種選択科目から興味のある科目を受講し、一般教養力の向上をはかる。	2前	30	1	○	○		○			○	

28	○		手描きイラストレーションⅡ	手描きイラストレーションⅠの内容をふまえ、ストーリーの組み立てや漫画表現について学ぶ	3通	60	2		○	○	○								
29	○		立体造形	粘土などの素材を使って、立体物の造形を行う。	2後	30	1		○	○									○
30	○		3DCGⅠ	3DCGソフトを使ったモデリングから出力までの流れを学習する。	1通	120	4		○	○	○	○							
31	○		3DCGⅡ	3DCGソフトのモデリング・アニメーションについて学習する。	2通	90	3		○	○	○	○							
32	○		画像処理	ペイント系ソフトによる画像の編集方法について学習する。	1前	60	2		○	○	○								
33	○		イラストレーション	ドロー系ソフトによるイラストやロゴなどの作成について学習する。	1通	60	2		○	○									○
34	○		撮影技術	写真撮影の技法について学ぶ。	2前	30	1		○	○	○								
35	○		映像制作基礎	映像編集ソフトを使った映像制作の基礎について学習する。	1通	60	2		○	○	○								
36	○		映像制作応用	映像の制作、ショートムービーの制作を行う。	2通	60	2		○	○	○								
37	○		マーケティング	マーケティングの調査・分析方法などを学習する。	3前	30	2	○		○									○
38	○		コピーライティング	広告におけるコピーの役割や発想法について学び、作品に活かす方法を学習する。	3通	30	2	○		○									○
39	○		DTPⅠ	DTPの基礎について学習し、簡単な印刷物の制作を行う。	1通	90	3		○	○	○								
40	○		DTPⅡ	DTPソフトによる印刷物の制作方法について学ぶ。	2通	90	3		○	○									○
41	○		WEBデザインⅠ	HTML・CSSの基礎について学習し、WEBページの制作を行う。	1通	90	3		○	○	○								
42	○		課題制作Ⅰ	進級課題や公募課題の作品制作を行う。	1後	60	2		○	○	○								

43	○		課題制作Ⅱ	進級課題や公募課題の作品制作を行う。	2通	90	3		○	○	○						
44	○		ポートフォリオ	WEBのポートフォリオサイト、ポートフォリオの冊子の制作を行う。	2後	120	4		○	○				○	○		
45		○	3次元アニメーション	3Dソフトによるモーション作成について学習する。	2後	60	2		○	○					○		
46		○	WEBプログラミング	JavaScriptを利用した動的サイトの、CMSの導入について学ぶ。	2後	60	2		○	○					○		
47		○	ゲームデザインⅠ	東京ゲームショウの出展作品の制作を行う。	2前	90	3		○	○					○	○	
48		○	WEBデザインⅡ	キャンプの作成からコーディングまでの流れを学習する。	2前	90	3		○	○					○		
49		○	映像編集	映像制作やエフェクト制作について学習する。	3通	60	2		○	○					○		
50		○	WEBサイト制作	CMSを導入したサイトの制作を行う。	3通	60	2		○	○					○		
51		○	3DCGⅢ	より高精度のモデリングについて学習する。	3通	90	3		○	○					○		
52		○	クロスメディア基礎	印刷、Web、映像などのメディアをまたいだ総合的な広告企画、および制作を行う。	3通	90	3		○	○					○		
53		○	モーションデザイン	3DCGのモーション制作を行う。アニメーションドラフト会議対策。	3通	60	2		○	○					○		
54		○	パッケージデザイン	DTPで学んだことを活かしパッケージの制作を行う。	3通	60	2		○	○					○		
55		○	ゲームデザインⅡ	東京ゲームショウの出展作品の制作を行う。	3前	120	4		○	○					○	○	
56		○	広告制作応用	広告制作について学習する。広告系公募課題の作品制作を行う。	3前	120	4		○	○					○	○	
57		○	卒業研究	3年間の集大成として卒業制作を行う。	3後	300	10		○	○					○	○	

58	○	インターンシップ	就職する前に企業において実務を経験することにより、社会の仕組み、仕事の仕組み、会社組織などを実際に体験する。	3 後	300	10			○	○	○
合計				58	科目	138	(3810)	単位 (単位時間)			

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件： （１）必須科目及び選択必修科目において不可がない （２）学年ごとの総欠課時限数が年間消化時限数の15%以内である （３）学納金が未納でない	1 学年の学期区分	2 期
履修方法： 選択必修科目は7科目・660時間を履修し修得する。 (留意事項)	1 学期の授業期間	15 週

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。